

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 08-01-01	事務事業名 苗木配布	所管部課 みどり環境部 みどり公園課
-------------------	---------------	--------------------------

施策コード 環1-2	施策名 みどりの空間の創出	施策目標 公園や緑地の拡充に加え、街路や公共施設、生垣などの身近な場所での緑化を進め、目に映るみどりの創出をめざします。
---------------	------------------	---

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等		
	住宅の庭などにおける緑化を支援するため、みどりに親しむ環境づくりや民有地の緑化を推進し、緑比率の現状維持に努める。	<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領		
	事業内容・実施方法等／補助の概要：補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する 毎年1回、2,000株前後の苗木を市民に無料で配布する。また、田無緑化組合などの協力による緑化相談を実施している。			
事業開始時期	合併前から	年度	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

項目	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
事業費(A)		1,799	1,700	1,600	1,400
財源内訳					
国庫支出金・都支出金		0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0
その他(緑の募金事業交付金)		57	57	50	50
一般財源		1,742	1,643	1,550	1,350
所要人員(B)	人	0.1	0.1	0.1	0.1
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	817	808	808	817
臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	2,616	2,508	2,408	2,217
単位当たりコスト(E)=(D)/(配布用苗木数)	千円	1	1	1	1

活動等指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
① 配布用苗木数	実績値 本	2,039	2,240	2,305	1,800
②	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》 市が配布のために用意した苗木数					
成果指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
一次 想定緑化面積(H13~)	目標値 m ²	873	959	987	770
	実績値 m	8,565	9,524	10,510	
二次	目標値				
	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》 苗木1本当りの想定緑化面積0.5m ² ×配布日以降の苗木残存率85.6%=0.428m ² /本 (※残存率はアンケート結果から) 目標値=当該年度面積、実績値=残存率を基にした累計面積					

事業環境等	市民・関連団体等の意見(アンケート結果など)	平成19年度の苗木配布時にアンケートを実施した結果、苗木無料配布の存続要望率は99.1%であった。また、以前に配布した苗木の存続率は85.6%であった。
	都内26市のサービス水準との比較(平均値、本市の順位など)	<input checked="" type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 26市中で苗木の配布を実施しているのは10市。うち6市が市の予算から支出しており、西東京市の予算額は上位となっている。
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 代替・類似サービスはない。

事業コード 08-01-01	事務事業名 苗木配布	所管部課 みどり環境部 みどり公園課
-------------------	---------------	--------------------------

施策コード 環1-2	施策名 みどりの空間の創出	施策目標 公園や緑地の拡充に加え、街路や公共施設、生垣などの身近な場所での緑化を進め、目に映るみどりの創出をめざします。
---------------	------------------	---

【一次評価】

検証項目	ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等	
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>前回の行革本部評価において抜本的見直しとなっており、予算規模を縮小しつつ改善を行ってきた。</p> <p>苗木配布時に実施したアンケート結果では、市民の事業存続要望率は99.1%と高く、配布した苗木の残存率も85%を超える数字となっており、配布した苗木が年々定着してきているとの結果を得ている。</p> <p>よって、緑化推進の観点から継続実施する必要があると考えるが、近年の市の財政状況や近隣区市が同様事業の規模縮小傾向にあることなどから、規模や配布数の見直し等について更なる検討をしていきたい。</p> <p>また、今後も市民アンケートなどを活用し、緑確保への効果を見極めつつ費用対効果を検証していく。</p>
	事業の必要性	2		
	事業主体の妥当性	2		
B	直接のサービスの相手方の相手方	3		
	事業内容等の適切さ	2		
	受益者負担の適切さ	1		
C	市民ニーズの把握	2		

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目	ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等	
A	事業の優先度 (緊急性)	1	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<p>前回の行政評価結果では、26市中14市の実施、配布本数、種類も14市中上位であること。無料配布であり受益者負担が無いこと。目的が緑化であるが効果測定がないこと。配布にあたり重複者が推測されること。など当時指摘された事項について改善・見直しされた形跡がない。しかも14市の実施も平成23年度現在10市にまで縮小している状況である。抜本的な見直しが不可能であれば事業を廃止し、新たな施策で緑化推進、緑被率の向上を目指すようスクラップ・アンド・ビルドが必要である。</p>
	事業の必要性	1		
	事業主体の妥当性	1		
B	直接のサービスの相手方の相手方	1		
	事業内容等の適切さ	1		
	受益者負担の適切さ	1		
C	市民ニーズの把握	1		

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 08-01-02	事務事業名 生垣造成補助事業	所管部課 みどり環境部 みどり公園課
-------------------	-------------------	--------------------------

施策コード 環1-2	施策名 みどりの空間の創出	施策目標 公園や緑地の拡充に加え、街路や公共施設、生垣などの身近な場所での緑化を進め、目に映るみどりの創出をめざします。
---------------	------------------	---

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等 <input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領
	宅地と道路との接道部の緑化を推進するために、新たな生垣の造成及びそれに伴う既存のブロック塀等の撤去に対し助成を行い、みどりに親しむ環境づくりやブロック塀等の倒壊による災害の発生を防止する。	
	事業内容・実施方法等/補助の概要: 補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する 新たな生垣の造成及びそれに伴う既存のブロック塀等の撤去に対し補助金を交付する。補助金額は2mを超える生垣について1m当り10,000円(30mを限度)、既存ブロック塀等の撤去について1m当り6,000円(30mを限度)とする。ただし、要した実費が算定した額に満たないときは、実費相当額を補助金の交付額とする。	
事業開始時期	合併前から 年度	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

項目	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
事業費(A)		920	1,836	2,080	2,080
財源内訳					
国庫支出金・都支出金		0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0
その他 ()		0	0	0	0
一般財源		920	1,836	2,080	2,080
所要人員(B)	人	0.05	0.05	0.05	0.05
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	408	404	404	408
臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	1,328	2,240	2,484	2,488
単位当たりコスト (E)=(D)/(助成件数)	千円	266	140	414	0

活動等指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
①PR回数	実績値 回	3	3	3	
②助成件数	実績値 件	5	16	6	
《指標の説明・数値変化の理由 など》					
成果指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
一 次 生垣の延長(H13~)	目標値 m	92	176	59	160
	実績値 m	1,257.05	1,432.35	1,490.95	
二 次	目標値				
	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》 生垣助成の総延長(平成13年度から)					

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	災害防止を兼ねた緑化となるため市民から好評を得ている	
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	近隣8市(武蔵野・三鷹・小金井・小平・東村山・清瀬・東久留米・西東京市)のうち生垣造成補助事業を実施している市は東久留米市を除く7市であり、西東京市の予算額は上位に位置している。
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	代替・類似サービスはない。

事業コード 08-01-02	事務事業名 生垣造成補助事業	所管部課 みどり環境部 みどり公園課
-------------------	----------------	--------------------------

施策コード 環1-2	施策名 みどりの空間の創出	施策目標 公園や緑地の拡充に加え、街路や公共施設、生垣などの身近な場所での緑化を進め、目に映るみどりの創出をめざします。
---------------	------------------	---

【一次評価】

検証項目	ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等	
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	東日本大震災の際に民家のブロック塀が倒壊するという事故が市内でも数件発生した。そのためか、その後、生垣補助事業についての市への問い合わせの件数が増えており、市民の関心が高まっているように感じている。PRの方法や回数などの課題はあるが、緑化の推進を主目的に、災害防止の観点からも継続実施が必要な事業であると考えている。
	事業の必要性	2		
	事業主体の妥当性	2		
B	直接のサービスの相手方の相手方	1		
	事業内容等の適切さ	3		
	受益者負担の適切さ	2		
C	市民ニーズの把握	2		

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目	ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等	
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	合併以前からの事業でありこれまで特段の見直しは行われてこなかった事業で、他市の実施状況についても補助基準額、補助限度額などの検証が十分とはいえない。大震災の影響で市民の関心も増すことは理解できるが、やはり対象者はごく一部に限られている。生垣を設置できる条件の整った一部の市民の資産形成に対する補助であることを抜本的に見直す時期に来ていると判断する。
	事業の必要性	2		
	事業主体の妥当性	3		
B	直接のサービスの相手方の相手方	2		
	事業内容等の適切さ	1		
	受益者負担の適切さ	2		
C	市民ニーズの把握	2		

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 08-01-03	事務事業名 花いっぱい運動の推進	所管部課 みどり環境部 みどり公園課
-------------------	---------------------	--------------------------

施策コード 環1-2	施策名 みどりの空間の創出	施策目標 公園や緑地の拡充に加え、街路や公共施設、生垣などの身近な場所での緑化を進め、目に映るみどりの創出をめざします。
---------------	------------------	---

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	公園などの公共用地に設けた花壇のデザインや植え付け、管理等を市民と協働で行い、市民の緑化への関心を高めるとともに、潤いのある豊かなまちづくりの実現を図る。	<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等／補助の概要：補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する 原則として市民5人以上の団体が実施する「花いっぱい運動」の活動に対し、花の植え付けに必要な花苗・資材等の支給や育苗センター等の運営を委託する。現在、市内3団体と協働で実施している。平成23年度予算額 苗木購入費 2,580,000円、委託料 2,220,000円、工事費 525,000円	
事業開始時期	合併前から 年度	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> その他(市民団体との協働)

項目	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
事業費(A)		5,928	5,608	5,325	5,325
財源内訳					
国庫支出金・都支出金		2,541	2,536	2,396	0
地方債	千円	0	0	0	0
その他()		0	0	0	0
一般財源		3,387	3,072	2,929	5,325
所要人員(B)	人	0.7	0.7	0.5	0.5
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	5,716	5,656	4,040	4,083
臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	11,644	11,264	9,365	9,408
単位当たりコスト(E)=(D)/(株数)	千円	0	0	0	0

活動等指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
①株数	実績値 株	26,326	32,079	27,928	
②	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》 花いっぱい運動で植えた花苗の株数					
成果指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
一 活動箇所数	目標値 箇所				43
	実績値 箇所	44	40	43	
二 会員数	目標値 人				160
	実績値 人	116	146	148	
《指標の説明・数値変化の理由 など》 ①「花いっぱい運動」の活動対象となっている花壇数 ②協力団体の会員数					

事業環境等	市民・関連団体等の意見(アンケート結果など)	特になし
	都内26市のサービス水準との比較(平均値、本市の順位など)	<input checked="" type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 近隣8市(武蔵野・三鷹・小金井・小平・東村山・清瀬・東久留米・西東京市)のうち同様の事業を実施している市は6市で、西東京市の予算額は最上位である。
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 代替・類似サービスはない。

事業コード 08-01-03	事務事業名 花いっぱい運動の推進	所管部課 みどり環境部 みどり公園課
-------------------	---------------------	--------------------------

施策コード 環1-2	施策名 みどりの空間の創出	施策目標 公園や緑地の拡充に加え、街路や公共施設、生垣などの身近な場所での緑化を進め、目に映るみどりの創出をめざします。
---------------	------------------	---

【一次評価】

検証項目	ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等	
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	一部の市民団体では、花づくり教育事業の一環としてガーデナー養成講座を開催するなど、会員の獲得を積極的に行っており、会員数も増加傾向となっている。今後も、潤いのある豊かなまちづくりの実現を目指し、市民が主体となる緑化運動を推進していくためには継続実施が必要と考える。
	事業の必要性	2		
	事業主体の妥当性	2		
B	直接のサービスの相手方	2		
	事業内容等の適切さ	2		
	受益者負担の適切さ	2		
C	市民ニーズの把握	2		

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目	ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等	
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	本事業は、市民ボランティア組織である団体の協力を得て実施されており、概ね良好に展開されている。「花いっぱい運動」という活動を介する市民協働事業としての成果を見ることが出来る。活動も全市域に展開されているようだが一部に空白地域があることも判明した。今後は、空白地域を埋めるボランティア育成や団体が主体となって活動する講座事業など支援の手法に工夫を凝らし更なる推進を図りたい。
	事業の必要性	2		
	事業主体の妥当性	2		
B	直接のサービスの相手方	2		
	事業内容等の適切さ	2		
	受益者負担の適切さ	2		
C	市民ニーズの把握	2		

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 08-01-04	事務事業名 散策ルートの整備	所管部課 みどり環境部 みどり公園課
-------------------	-------------------	--------------------------

施策コード 活2-1	施策名 まちの魅力を創造	施策目標 自然環境を活かした特徴あるまちづくりを進め、人が集まるまちとなるための魅力を向上させるとともに、人が集うきっかけづくりや観光資源の研究に取り組みます。
---------------	-----------------	---

事務事業の概要	事務事業の目的	市内に点在する公園や社寺などをネットワーク化し、散策ルートを設定するなど、歩いて楽しめる空間作りを推進することで自然環境を生かした特色あるまちづくりを推進する。	根拠法令等 <input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等／補助の概要：補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する	市民団体と協働し、散策ルートの調査・研究及び散策マップを作成する。	
	事業開始時期	17 年度	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> その他(市民団体との協働)

項目	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
事業費(A)		0	0	0	900
財源内訳					
国庫支出金・都支出金		0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0
その他()		0	0	0	0
一般財源		0	0	0	900
所要人員(B)	人	0	0	0	0.15
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	0	0	0	1,225
臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	0	0	0	2,125
単位当たりコスト(E)=(D)/(懇談会回数)	千円	0	0	0	708

活動等指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
① 懇談会回数	実績値 回				3
②	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》					
成果指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
一 散策マップ配布数	目標値 部 実績値 部				10,000
二	目標値 実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》 散策マップ配布数					

事業環境等	市民・関連団体等の意見(アンケート結果など)	平成17年度に作成した「みどりの散策マップ」は、作成後に実施した「みどりの散策路めぐり」とともに大好評であった。
	都内26市のサービス水準との比較(平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 近隣8市(武蔵野・三鷹・小金井・小平・東村山・清瀬・東久留米・西東京市)のうち同様の事業を実施している市は3市で、西東京市の予算額は上位に位置している。
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 代替・類似サービスはない。

事業コード 08-01-04	事務事業名 散策ルートの整備	所管部課 みどり環境部 みどり公園課
-------------------	-------------------	--------------------------

施策コード 活2-1	施策名 まちの魅力を創造	施策目標 自然環境を活かした特徴あるまちづくりを進め、人が集まるまちとなるための魅力を向上させるとともに、人が集うきっかけづくりや観光資源の研究に取り組みます。
---------------	-----------------	---

【一次評価】

検証項目	ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等	
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>市民活動団体の協力により、平成17年度に第1版10,000部を発行したが、5年を経過した現在では僅かの在庫を残すのみとなっている。市民から増刷の要望が多いが、経年の道路整備や開発行為など自然環境に変化が生じているため、散策ルートの見直しを行い、新たな散策ルートマップを作成する。</p> <p>なお、散策ルートを歩く「みどりの散策路めぐり事業」には多数の市民が参加し好評を得ており、ここでも散策ルートマップの活用が図られている。</p>
	事業の必要性	2		
	事業主体の妥当性	2		
B	直接のサービスの相手方の相手方	3		
	事業内容等の適切さ	2		
	受益者負担の適切さ	2		
C	市民ニーズの把握	2		

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目	ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等	
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>平成17年度に作成した「みどりの散策マップ」は非常に人気がありマップを活用した「みどりの散策路めぐり」も好評であった。散策ルートの検討は市民協働で進められており 低コストで実施されている。今後は、地図の有償頒布や広告収入なども検討し、事業コストの更なる縮減を図りたい。</p>
	事業の必要性	2		
	事業主体の妥当性	2		
B	直接のサービスの相手方の相手方	3		
	事業内容等の適切さ	2		
	受益者負担の適切さ	2		
C	市民ニーズの把握	2		

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 08-02-01	事務事業名 西東京市地球温暖化対策実行計画の推進(エコアクション21の運用)	所管部課 みどり環境部 環境保全課
-------------------	---	-------------------------

施策コード 環2-4	施策名 地球温暖化対策の推進	施策目標 地球温暖化防止のため、省資源・省エネルギーを進めるとともに、再生可能エネルギーの導入・活用をめざします。
---------------	-------------------	--

事務事業の概要	事務事業の目的	行政運営を通じた環境負荷の低減、環境保全事業の推進。	根拠法令等 <input type="checkbox"/> 法律 <input checked="" type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等/補助の概要:補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する	西東京市では、平成20年度から環境マネジメントシステムであるエコアクション21を運用している。このシステムは、温室効果ガス排出量、廃棄物排出量、水道使用量の削減が必須項目となっている。また、このシステムを運用するためには外部機関からの審査を定期的(2年毎に更新審査、その間に中間審査)に受ける必要がある。審査には、環境配慮行動チェックリスト等を用いて実施される。 (予算:4.1.4.5地球温暖化対策事業費)	
	事業開始時期	20年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()

項目	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
事業費(A)		5,305	884	3,541	420
財源内訳					
国庫支出金・都支出金		0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0
その他()		0	0	0	0
一般財源		5,305	884	3,541	420
所要人員(B)	人	1	1	0.9	1
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	8,165	8,080	7,272	8,165
臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	13,470	8,964	10,813	8,585
単位当たりコスト(E)=(D)/(環境配慮行動チェック項目数)	千円	148	113	137	0

活動等指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
① 環境配慮行動チェック項目数	実績値 個	91	79	79	
②	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》					
<一次>「環境配慮行動チェックリスト」は、日常業務における環境配慮行動を推進するにあたり、各課・各施設等における取組み内容を確認し、その内容を点検・評価するためのものである。					
成果指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
一次 チェック項目実施率	目標値 %	80	90	90	100
	実績値 %	90	90	90	
二次 温室効果ガス排出量	目標値 tCO2	6,802	6,802	6,802	6,802
	実績値 tCO2	7,403	7,137		
《指標の説明・数値変化の理由 など》					
<1>職員の日常業務における環境配慮行動の確認を「環境配慮行動チェックリスト」により把握する。					
<2>「西東京市地球温暖化対策実行計画」に基づく温室効果ガスの削減にあるため。※平成22年度は集計中。					

事業環境等	市民・関連団体等の意見(アンケート結果など)	エコアクション21審査機関からは、エコアクション21を複数年継続運用することによって、その効果が現れると聞いている。事実、市庁舎等公共施設から排出される温室効果ガスの量は年々減少しており、職員間においても環境に対する意識が浸透して来ている。
	都内26市のサービス水準との比較(平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 エコアクション21を認証取得している団体、企業等は全国で6,430ある。このうち公共機関等は全国で22の団体等が取得している。都内では北区、荒川区、西東京市の3団体が取得している。(平成23年5月末現在)
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ISO14001等他の環境マネジメントシステム規格や認証規格がない環境マネジメントシステムがある。

事業コード 08-02-01	事務事業名 西東京市地球温暖化対策実行計画の推進（エコアクション21の運用）	所管部課 みどり環境部 環境保全課
-------------------	---	-------------------------

施策コード 環2-4	施策名 地球温暖化対策の推進	施策目標 地球温暖化防止のため、省資源・省エネルギーを進めるとともに、再生可能エネルギーの導入・活用をめざします。
---------------	-------------------	--

【一次評価】

検証項目	ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<p>西東京市の公共施設の環境負荷削減及び環境保全事業の推進のため、エコアクション21規格に基づき、環境方針を定め、環境負荷の低減及び環境保全事業に取り組んでいる。この環境マネジメントシステムの運用により、各課独自目標設定等を新たに取り込むことで環境配慮行動の実践に効果があるため、今後も継続実施する必要があると考える。また、市内中小事業者から排出される温室効果ガス削減にも一定の効果が期待されることから、エコアクション21の普及を市内中小事業者に図るため、市が率先して運用する必要がある。</p> <p>各課の目標の設定に活動指標を取入れる等の改善をしつつ、学校施設への展開を継続する。また、エコアクション21事務局と連携し、市内中小事業者を対象に平成21年度に引続き平成23年度も認証取得セミナーを実施する。</p> <p>環境マネジメントシステムはエコアクション21だけではなく、自庁内で独自に開発したシステムを運用している自治体もあるため、今後システムの見直し等についても検討をしていく。</p>
	事業の必要性	2	
	事業主体の妥当性	3	
B	直接のサービスの相手方	2	
	事業内容等の適切さ	3	
	受益者負担の適切さ	3	
C	市民ニーズの把握	2	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目	ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<p>本市においては、平成20年度からエコアクション21の運用を行ってきているが、職員の環境に対する意識が徐々に浸透し、確実に環境負荷の低減に繋がっていると考えられる。今後、更に運用方法について再評価を行い、よりいっそうの職員の環境意識の向上に努める必要がある。また、市内の中小事業所がエコアクション21の認証事業所になっていくことで、市全体の地球温暖化の対策の推進となると考えられることからセミナーの参加事業所が増えるような広報が望まれる。なお、検討課題としている環境マネジメントシステムの見直しについては、平成25年度の環境基本計画の策定に併せ、現在のシステムの評価を行った上で検討されたい。</p>
	事業の必要性	2	
	事業主体の妥当性	3	
B	直接のサービスの相手方	1	
	事業内容等の適切さ	2	
	受益者負担の適切さ	2	
C	市民ニーズの把握	2	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 08-02-02	事務事業名 地球温暖化対策助成金の運用	所管部課 みどり環境部 環境保全課
-------------------	------------------------	-------------------------

施策コード 環2-4	施策名 地球温暖化対策の推進	施策目標 地球温暖化防止のため、省資源・省エネルギーを進めるとともに、再生可能エネルギーの導入・活用をめざします。
---------------	-------------------	--

事務事業の概要	事務事業の目的	地球温暖化の原因となる温室効果ガスの削減対策として、一般家庭における省エネ等の取組みを支援する。また、環境省が中小企業の事業者向けに策定したエコアクション21の認証を取得した者に対し、その取得に必要な経費の一部を助成することにより、環境に配慮した経営の促進を図り、もって市民の生活環境の向上に資することを目的とする。	根拠法令等 <input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等／補助の概要：補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する	「西東京市住宅用太陽光発電システム等設置助成金交付要綱」に基づき、太陽光発電システム(予定数15件、1,200,000円)、高効率給湯器等の住宅用新エネルギー・省エネルギー機器等(予定数46件、1,600,000円)の設置に対する助成を行う。また、「西東京市エコアクション21認証取得費助成金交付要綱」に基づき、エコアクション21の認証取得をした者に、その費用の一部を助成する。(予定数10件、800,000円)(予算：4.1.4.5地球温暖化対策事業費)	
	事業開始時期	21年度	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()

項目	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
事業費(A)		0	3,228	3,250	4,142
財源内訳					
国庫支出金・都支出金		0	0	1,050	1,471
地方債	千円	0	0	0	0
その他()		0	0	0	0
一般財源		0	3,228	2,200	2,671
所要人員(B)	人	0	0.2	0.2	0.2
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	0	1,616	1,616	1,633
臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	0	4,844	4,866	5,775
単位当たりコスト(E)=(D)/(太陽光等募集件数)	千円	0	72	81	81

活動等指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
① 太陽光等募集件数	実績値 件		67	60	71
②	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》 住宅用太陽光発電システム、高効率給湯器設置助成募集件数及びエコアクション21認証取得費助成予定件数。					
成果指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
一 太陽光等応募件数	目標値 件				250
	実績値 件		176	233	
二 太陽光等助成件数	目標値 件				60
	実績値 件		61	60	
《指標の説明・数値変化の理由 など》 住宅用太陽光発電システム、高効率給湯器設置助成件数及びエコアクション21認証取得費助成件数。					

事業環境等	市民・関連団体等の意見(アンケート結果など)	市民からは、助成金額が減っても助成件数を増やして欲しいという意見が多く寄せられている。このため、平成23年度は1件あたりの助成額を減額し、助成予定件数を増やしている。
	都内26市のサービス水準との比較(平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 下 太陽光発電システム設置助成制度は、多摩26市中18市で実施しており、その平均予算額は約824万円である。西東京市の予算額は120万円であり、18市中最低となっている。近隣市の状況は、東村山市が1000万円、小平市が600万円、清瀬市が400万円となっている。
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 代替・類似サービスはなし。

事業コード 08-02-02	事務事業名 地球温暖化対策助成金の運用	所管部課 みどり環境部 環境保全課
-------------------	---------------------	-------------------------

施策コード 環2-4	施策名 地球温暖化対策の推進	施策目標 地球温暖化防止のため、省資源・省エネルギーを進めるとともに、再生可能エネルギーの導入・活用をめざします。
---------------	-------------------	--

【一次評価】

検証項目	ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<p>住宅用太陽光発電システム等設置費用助成金制度は、環境負荷が少ないエネルギー利用の促進を図るためには有益である。平成22年度は、助成枠に対し太陽光で約8倍、高効率給湯器で約3倍の応募があり、この事業に対する市民の関心は高いと思われる。</p> <p>今後、助成件数を増やせるかが課題となる。また、助成対象機器に太陽熱温水器を加えること、対象物件に集合住宅を加えることも検討する必要がある。</p> <p>事業者に対するエコアクション21認証・登録費用の一部助成制度については、市内事業者がエコアクション21を導入することで各種環境データの見える化につながる。効果として光熱水費等の経費削減が図られ、結果として事業者から排出される温室効果ガス削減に寄与することが期待されるため、有用であると考えている。</p>
	事業の必要性	2	
	事業主体の妥当性	3	
B	直接のサービスの相手方	3	
	事業内容等の適切さ	2	
	受益者負担の適切さ	2	
C	市民ニーズの把握	3	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目	ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<p>地球温暖化防止対策の一環として実施している住宅用太陽光発電システム等設置助成金制度については、市民の関心が高く助成枠を大きく上回る応募があり、昨今のエネルギー事情からも今後益々応募が増える可能性がある。太陽光発電システムや高効率給湯器等の設置や、事業者のエコアクション21認証・登録については、結果として温室効果ガスの削減に寄与することが期待されることから、機器等の導入を促進する為の同制度の継続実施については当面必要と考えられる。なお、制度の拡充については、国や東京都の同種の補助制度の動向を踏まえ検討されたい。</p>
	事業の必要性	2	
	事業主体の妥当性	3	
B	直接のサービスの相手方	3	
	事業内容等の適切さ	2	
	受益者負担の適切さ	2	
C	市民ニーズの把握	2	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 08-02-03	事務事業名 飼い主のいない猫避妊・去勢手術代助成金	所管部課 みどり環境部 環境保全課
-------------------	------------------------------	-------------------------

施策コード 環2-1	施策名 環境意識の高揚	施策目標 環境を大切にすくみづくりや環境学習の推進を通して、市民・事業者及び行政の環境意識の高揚をめざします。
---------------	----------------	--

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	飼い主のいない猫の不妊又は去勢の手術に要する費用を助成することにより、飼い主のいない猫の数を抑制し、市民の快適な生活環境の保持及び動物愛護精神の高揚を図ることを目的とする。	<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等／補助の概要：補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する 助成対象者は、西東京市内在住・在勤・在学の個人や団体で不妊等手術費用を負担ができ、かつ餌場の清掃、ふん尿の処理等地域住民の理解を得ることを条件に、オス猫5,000円メス猫10,000円を限度に助成。市内の指定動物病院で手術を受ける。 (予算：4.1.4.1環境衛生事業費(飼い主のいない猫避妊・去勢手術代助成金))	
事業開始時期	21 年度	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

項目	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
事業費(A)		0	400	750	800
財源内訳					
国庫支出金・都支出金		0	200	375	400
地方債	千円	0	0	0	0
その他 ()		0	0	0	0
一般財源		0	200	375	400
所要人員(B)	人	0	0.3	0.3	0.2
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	0	2,424	2,424	1,633
臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	0	2,824	3,174	2,433
単位当たりコスト(E)=(D)/(猫避妊・去勢手術実施数)	千円	0	47	34	25

活動等指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
①猫避妊・去勢手術実施数	実績値 匹		60	94	96
②	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》					
成果指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
一次	目標値				
	実績値				
二次	目標値				
	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》					

事業環境等	市民・関連団体等の意見(アンケート結果など)	猫のふん尿、鳴き声で困っている。猫が増えて困っている。飼い主のいない猫に餌をあげているが子猫を生んでしまった。里親を探したい。不妊去勢手術を施してこれ以上増えないようにしたいが、手術代金が高くて困っている。等の苦情相談が多く、地域猫対策を検討することとなった。
	都内26市のサービス水準との比較(平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 飼い主のいない猫の不妊去勢手術助成交付を行っている市は、13市(飼い犬・飼い猫も対象としている。3市)。助成額及び対象者・団体など各市で違いがある。補助の平均額は、オス6,240円メス10,040円
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 「NPOねこだすけ」と言う団体が、地域猫対策について相談等を受け付けている。

事業コード 08-02-03	事務事業名 飼い主のいない猫避妊・去勢手術代助成金	所管部課 みどり環境部 環境保全課
-------------------	------------------------------	-------------------------

施策コード 環2-1	施策名 環境意識の高揚	施策目標 環境を大切にすくみづくりや環境学習の推進を通して、市民・事業者及び行政の環境意識の高揚をめざします。
---------------	----------------	--

【一次評価】

検証項目	ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等	
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>猫に関する問題は、糞尿やいたずらによる被害、捨て猫、無責任なエサやりなどいろいろあるが、これまで良い解決策がなかった。猫による被害を受けている人は、猫が来ないように自衛策を講ずるしかなく、不幸な猫が増えることに心を痛める人は、個人で不妊去勢手術を行い、経済的な負担を強いられるという状況が続いている。</p> <p>また、毎年1万匹以上の猫を行政が致死処分し、道路などで飼い主不明の死体として処理される猫は2万匹を越えている。(東京都内)</p> <p>このような状況から「飼い主のいない猫」への対応として、こうした猫を不要なものとして排除するのではなく、地域の問題として捉えた上で、地域の特性や住民の意思を踏まえ、平成21年9月より西東京市獣医師会の協力を得て「西東京市飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費の助成制度」を開始している。</p> <p>市報での啓発や里親探しの場の提供のほか、猫の捕獲や病院への送迎等のボランティアが少ないので随時募集を行なっている。</p>
	事業の必要性	2		
	事業主体の妥当性	3		
B	直接のサービスの相手方の相手方	2		
	事業内容等の適切さ	2		
	受益者負担の適切さ	2		
C	市民ニーズの把握	1		

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目	ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等	
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>飼い主のいない猫の数の抑制については、現在、避妊・去勢手術を行うことで対応し、確実に成果が上ってきている。同事業については継続実施することで確実に効果が得られると考えられるが、同事業の円滑な実施のためには、地域住民の協力が必要不可欠であることから、引き続き市民への啓発活動を強化し、猫の捕獲や病院への送迎などの協力が得られるボランティアの確保を望みたい。</p>
	事業の必要性	2		
	事業主体の妥当性	3		
B	直接のサービスの相手方の相手方	1		
	事業内容等の適切さ	2		
	受益者負担の適切さ	2		
C	市民ニーズの把握	1		

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 08-02-04	事務事業名 エコプラザ西東京の運営管理	所管部課 みどり環境部 環境保全課
-------------------	------------------------	-------------------------

施策コード 環2-1	施策名 環境意識の高揚	施策目標 環境を大切にすしくみづくりや環境学習の推進を通して、市民・事業者及び行政の環境意識の高揚をめざします。
---------------	----------------	---

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等 <input type="checkbox"/> 法律 <input checked="" type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等／補助の概要：補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する	
平成22年度より環境保全課に事務移管となった。施設運営に市民嘱託員(5人、常駐3人)を活用することにより、市民目線での環境学習を展開することが出来る。事業内容・実施方法としては①環境に配慮した設備等の展示、環境関連各種講座、公演、講習会等の開催②環境登録団体による講座、公演、講習会等の開催③環境関連情報収集及び提供並びに資料の収集、保管及び提供④環境学習機器の貸出(消費電力測定器等)が挙げられる。主な予算項目としては、嘱託職員報酬、保守管理委託料、需用費である。(予算：4.1.4.7エコプラザ西東京運営管理費)		
事業開始時期	20 年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

項目	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
事業費(A)		28,802	16,704	18,456	21,053
財源内訳					
国庫支出金・都支出金		0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0
その他()		0	0	0	0
一般財源		28,802	16,704	18,456	21,053
所要人員(B)	人	0.5	0.5	0.5	0.5
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	4,083	4,040	4,040	4,083
臨時職員賃金等(C')	千円	9,395	9,774	9,546	10,313
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	42,280	30,518	32,042	35,449
単位当たりコスト(E)=(D)/(年間主催事業数)	千円	2,114	848	493	506

活動等指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
①年間主催事業数	実績値 回	20	36	65	70
②	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》 年間主催事業回数を指標とする。					
成果指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
一次 年間主催参加者数	目標値 人				1,700
	実績値 人	499	1,539	1,539	
二次	目標値				
	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》 年間主催参加者を指標とする。					

事業環境等	市民・関連団体等の意見(アンケート結果など)	エコプラザ西東京運営協議会や利用者懇談会にて運営方針や各種協議を行っており、その意見等を反映させた運営を行っている。例えば、各種使用料の納付を保谷庁舎において行っていたものをエコプラザ西東京窓口で納付可能にして欲しいという要望に対し、要綱等を修正し、市民利用者の利便性を図った。
	都内26市のサービス水準との比較(平均値、本市の順位など)	<input checked="" type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 近隣市において、環境に特化した施設を運営している自治体はなく、当市が先行した事例となっている。
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 代替・類似サービスはなし。

事業コード 08-02-04	事務事業名 エコプラザ西東京の運営管理	所管部課 みどり環境部 環境保全課
-------------------	------------------------	-------------------------

施策コード 環2-1	施策名 環境意識の高揚	施策目標 環境を大切にすしくみづくりや環境学習の推進を通して、市民・事業者及び行政の環境意識の高揚をめざします。
---------------	----------------	---

【一次評価】

検証項目	ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<p>地球温暖化が加速する昨今、自治体が率先してその防止を図り、普及啓発活動を行うことはとても重要なことである。当施設は、平成20年6月に多摩地域の他自治体に先んじて開設された環境に特化した施設であり、エコプラザ西東京専属の市民嘱託員を中心に、地球温暖化問題だけではなく、様々な環境に関する情報の発信等を行っている。</p> <p>今後もその需要は高まるものと想定されるため事業の必要性はあるが、当施設に対する市民の認知度は必ずしも高いとは言えない。</p> <p>今後は、主催事業や各種講座等の充実による魅力ある施設作りや市民へ向けたPR活動についての展開が求められている。また、現在のところ年間利用者数の目標値を定めていないため、平成23年度より目標値を設定し運営する。</p>
	事業の必要性	2	
	事業主体の妥当性	3	
B	直接のサービスの相手方の相手方	2	
	事業内容等の適切さ	2	
	受益者負担の適切さ	3	
C	市民ニーズの把握	2	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目	ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<p>エコプラザ西東京においては環境学習の場の提供を行い、主催事業や各種講座を実施し、実績値も毎年度増えてきているものの、年間利用可能数からするとまだ十分に活用されているとはいえない。市民への周知を図り、同施設の稼働率を高める主催事業や各種講座の見直し、更には施設が有効活用できる利用基準の見直しが必要である。</p>
	事業の必要性	2	
	事業主体の妥当性	2	
B	直接のサービスの相手方の相手方	2	
	事業内容等の適切さ	2	
	受益者負担の適切さ	2	
C	市民ニーズの把握	1	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 08-03-01	事務事業名 生ごみ処理機購入助成事業	所管部課 みどり環境部 ごみ減量推進課
-------------------	-----------------------	---------------------------

施策コード 環2-2	施策名 ごみ対策の推進	施策目標 できるだけごみを出さないという意識づくりや、ごみ減量化への取組を通して、環境負荷の少ない循環型社会の構築をめざします。
---------------	----------------	---

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	生ごみ減量化処理機を購入し、設置した市民に対し、その費用の一部を助成することにより、生ごみ減量化処理機器の購入を促進し、家庭等から排出される生ごみ等の減量化を図る。	<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等／補助の概要：補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する 生ごみ処理機(コンポスト容器・EM容器(2基まで)等)の生ごみ電動処理機を購入した者に対して、4万円を限度として、2分の1の額を助成している。ただし、生ごみ処理機器及びこれに相当する機器に対する助成を受けた者は、助成を受けた日の属する年度から5年間は助成の対象とならない。	
事業開始時期	13 年度	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

項目	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
事業費(A)		4,230	2,952	1,789	3,360
財源内訳					
国庫支出金・都支出金		0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0
その他()		0	0	0	0
一般財源		4,230	2,952	1,789	3,360
所要人員(B)	人	0.21	0.21	0.21	0.21
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	1,715	1,697	1,697	1,715
臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	5,945	4,649	3,486	5,075
単位当たりコスト					
(E)=(D)/(助成件数)	千円	29	33	43	0

活動等指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
① 助成件数	実績値 件数	203	140	81	
②	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》 平成20年1月の家庭ごみの有料化以降、助成件数が増加してきていたが平成22年度は減少傾向である。					
成果指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
一 可燃ごみ量	目標値				
	実績値	トン	24,521	24,261	20,375
二	目標値				
	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》 生ごみの減量の一環として、生ごみ処理機器助成制度は一助を担っている。					

事業環境等	市民・関連団体等の意見(アンケート結果など)	市民の方からは、生ごみの処理機助成制度によりごみの減量化に役立っているの、大変ありがたいとの声を聞いている。
	都内26市のサービス水準との比較(平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 26市中23市で実施しており、補助単価の平均は25,000円となっているので、中程度と考える。
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 無料で配布しているダンボールコンポストがある。

事業コード 08-03-01	事務事業名 生ごみ処理機購入助成事業	所管部課 みどり環境部 ごみ減量推進課
-------------------	-----------------------	---------------------------

施策コード 環2-2	施策名 ごみ対策の推進	施策目標 できるだけごみを出さないという意識づくりや、ごみ減量化への取組を通して、環境負荷の少ない循環型社会の構築をめざします。
---------------	----------------	---

【一次評価】

検証項目	ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<p>平成22年度の助成件数は対前年度比42%減と減少しているが、無料のダンボールコンポストの利用が進んでいることが一因と思われる。</p> <p>家庭等から排出される可燃ごみのうち、生ごみの占める割合は〇〇%と非常に高く、可燃ごみの減量を推進するためには、生ごみの排出抑制が必要である。</p> <p>今後も市民に生ごみ処理機購入助成制度の啓発活動を行いつつ、生ごみ減量対策を実施していく。</p>
	事業の必要性	2	
	事業主体の妥当性	3	
B	直接のサービスの相手方	2	
	事業内容等の適切さ	2	
	受益者負担の適切さ	2	
C	市民ニーズの把握	2	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目	ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<p>成果指標に可燃ごみの総量を掲げているが、生ごみ処理機を利用したことにより減量した部分が不明である。平均的な家庭で1台あたり年間何キロの生ごみが減量できるのか市民に分かりやすい数字を示すことも必要。コンポスト容器・EM容器と電動式生ごみ処理機と補助額補助率すべて同じという点についても、他市の実施方法を検証するなど見直しが必要である。助成件数の落ち込みは単にPR不足によるものなのか、これまで助成を続けたことによる普及率等も検証されたい。</p>
	事業の必要性	2	
	事業主体の妥当性	3	
B	直接のサービスの相手方	1	
	事業内容等の適切さ	1	
	受益者負担の適切さ	2	
C	市民ニーズの把握	1	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 08-03-02	事務事業名 集団回収活動の奨励事業	所管部課 みどり環境部 ごみ減量推進課
-------------------	----------------------	---------------------------

施策コード 環2-2	施策名 ごみ対策の推進	施策目標 できるだけごみを出さないという意識づくりや、ごみ減量化への取組を通して、環境負荷の少ない循環型社会の構築をめざします。
---------------	----------------	---

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等 <input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領
	奨励金を交付することにより、集団回収運動を促進し、市民の資源有効利用についての意識の向上とごみの減量を図る。	
	事業内容・実施方法等/補助の概要: 補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する 市は、古紙・古繊維類及び缶類の回収を行う団体からの登録申請を受け、回収業者に回収を委託している。集団回収団体への奨励金は、回収業者に引き渡した量により1キログラム当たり7円を限度に上半期・下半期と年2回交付している。現在、登録団体は、369団体となっている。	
事業開始時期	13 年度	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

項目	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
事業費(A)		24,064	23,839	23,386	25,550
財源内訳					
国庫支出金・都支出金		0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0
その他 ()		0	0	0	0
一般財源		24,064	23,839	23,386	25,550
所要人員(B)	人	0.17	0.17	0.17	0.17
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	1,388	1,374	1,374	1,388
臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	25,452	25,213	24,760	26,938
単位当たりコスト(E)=(D)/(資源物回収量)	千円	2	2	2	0

活動等指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
① 集団回収団体数	実績値 件	370	371	369	
②	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》 ほぼ数字的には横ばい状態である。これからの更なる新規加入の促進を図る。					
成果指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
一 資源物回収量	目標値				
	実績値	13,258	12,813	13,302	
二	目標値				
	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》 集団回収団体数が増加すれば資源物量も増え、ごみ減量に寄与することになる。					

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	回収業者によると、集団回収で収集された古紙は、集団回収団体の資源に対する意識が高いので非常に質が良いとのことである。 集団回収を行うことで、地域のコミュニティが図れるとの意見がある。(意見交換会にて)
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 26市で実施しており、回収品目によって奨励金の単価は異なる。近隣5市で1kgあたりの単価を比較すると中程度。
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 代替・類似サービスはない。

事業コード 08-03-02	事務事業名 集団回収活動の奨励事業	所管部課 みどり環境部 ごみ減量推進課
-------------------	-------------------	---------------------------

施策コード 環2-2	施策名 ごみ対策の推進	施策目標 できるだけごみを出さないという意識づくりや、ごみ減量化への取組を通して、環境負荷の少ない循環型社会の構築をめざします。
---------------	----------------	---

【一次評価】

検証項目	ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<p>ごみの減量化を図る上で集団回収事業は有効な施策であるため、分別収集の促進と平行して実施している。</p> <p>この事業は地域の住民が集団回収を行うことで、資源物に対する意識の向上やごみの分別の促進及びごみの減量に寄与することができると考えているため、今後も継続実施をしていきたい。</p> <p>しかし、近年、集団回収の団体件数が横ばい状態となっているので、市報やホームページ等でのPRを強化し、団体数を増やす努力をしていきたい。</p> <p>なお、毎年1回、集団回収団体等との情報交換の場所として、意見交換会を実施しているが、頂いたご意見等を参考にして、有効な手段があれば取り入れつつ、集団回収団体への加入をさらに推進するような働きかけをしていきたい。</p>
	事業の必要性	3	
	事業主体の妥当性	2	
B	直接のサービスの相手方の相手方	2	
	事業内容等の適切さ	2	
	受益者負担の適切さ	2	
C	市民ニーズの把握	2	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目	ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<p>集団回収を実施する団体数が減少したことについての原因分析と改善策を講じる必要がある。市内の大規模集合住宅は毎年一定程度新設されているので、集団回収の積極的な奨励を図るべきである。1Kg当たり7円の奨励金であるが、回収業者が資源として売払った際に手にする1Kg当たりの料金を品目ごとに検証し、真に資源化に資する品目の見直しも必要である。</p>
	事業の必要性	2	
	事業主体の妥当性	2	
B	直接のサービスの相手方の相手方	2	
	事業内容等の適切さ	2	
	受益者負担の適切さ	2	
C	市民ニーズの把握	2	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 08-03-03	事務事業名 剪定枝等資源化事業(リサイクル推進事業費)	所管部課 みどり環境部 ごみ減量推進課
-------------------	--------------------------------	---------------------------

施策コード 環2-2	施策名 ごみ対策の推進	施策目標 できるだけごみを出さないという意識づくりや、ごみ減量化への取組を通して、環境負荷の少ない循環型社会の構築をめざします。
---------------	----------------	---

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	<p>リサイクル推進事業の一環として、一般家庭から排出される庭木の剪定枝等を堆肥化することにより、ごみの減量化を推進するとともに資源の再利用を図る。</p>	<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	<p>事業内容・実施方法等/補助の概要:補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する</p> <p>一般廃棄物処理基本計画(H19.3)に基づき、家庭から5袋以上の剪定枝等(自ら伐採・剪定した樹木・枝・葉)が出た場合に、市が直接連絡を受けて回収をする。その後、回収した剪定枝等は、委託業者に運び堆肥化する。平成22年度は、モデル事業として実施したが、平成23年度からは本格実施となる。</p>	
事業開始時期	22 年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

項目	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
事業費(A)		0	0	2,312	4,632
財源内訳					
国庫支出金・都支出金		0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0
その他()		0	0	0	0
一般財源		0	0	2,312	4,632
所要人員(B)	人	0	0	0.26	0.43
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	0	0	2,101	3,511
臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	0	0	4,413	8,143
単位当たりコスト(E)=(D)/(収集量)	千円	0	0	62	45

活動等指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
① 収集量	実績値 トン	0	0	71	180
②	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》 モデル事業として22年度から実施している。					
成果指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
一 可燃ごみ量	目標値 トン				
	実績値 トン	24,521	24,261	20,375	
二 次	目標値				
	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》 可燃物の中には、剪定枝・草・落ち葉等がごみとして排出されているため、当事業を実施することにより可燃ごみの減量を図ることができる。					

事業環境等	市民・関連団体等の意見(アンケート結果など)	堆肥化されることにより、ごみの量が減量できれば大変環境に良いとの意見がある。
	都内26市のサービス水準との比較(平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 多摩地域では26市中18市が剪定枝等の資源化を実施しており、堆肥化の方法も同程度なので中とする。
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 代替・類似サービスはない。

事業コード 08-03-03	事務事業名 剪定枝等資源化事業（リサイクル推進事業費）	所管部課 みどり環境部 ごみ減量推進課
-------------------	--------------------------------	---------------------------

施策コード 環2-2	施策名 ごみ対策の推進	施策目標 できるだけごみを出さないという意識づくりや、ごみ減量化への取組を通して、環境負荷の少ない循環型社会の構築をめざします。
---------------	----------------	---

【一次評価】

検証項目	ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止
	事業の 必要性	3	
	事業主体の 妥当性	2	
B	直接のサービス の相手方	2	
	事業内容等の 適切さ	2	
	受益者負担の 適切さ	2	
C	市民ニーズの 把握	2	

平成22年度に組成分析を行った結果、市内の戸建住宅から出る可燃ごみの内「剪定枝・草」の占める割合が約30%と多く、可燃ごみの減量化には、この「剪定枝・草」を取り除くことが効果的な手段と考えている。
 前回の行革本部評価において、市内循環経路の確立との指摘を受け、休止との評価となったが、その後の検討の中で、市内循環については場所や経費の問題から実現困難との判断に至った。その後、事業の見直しを行い、中間処理及び最終処分における可燃ごみの処理費用を抑えるという点及び環境への配慮の観点から事業実施に至っている。剪定枝を可燃ごみ処理した場合の費用は1Kgあたり38円程度であるが、本事業における経費では1Kgあたり26円程度と想定される。（収集運搬費用は同額と想定）また、最終処分場への可燃ごみ焼却灰の搬入量の低減にもなる。

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目	ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止
	事業の 必要性	2	
	事業主体の 妥当性	3	
B	直接のサービス の相手方	3	
	事業内容等の 適切さ	1	
	受益者負担の 適切さ	3	
C	市民ニーズの 把握	1	

平成16年度から実施されたモデル事業で、平成18年度の事務事業評価では、剪定枝の市内における循環経路が確立されておらず移送費をかけて市外に移送していることが指摘され、市内循環経路を確立するした上で事業の再構築をしていくべきと指摘された。その後は一次評価にもあるが、喫緊の課題となっていた可燃ごみの減量及び費用面から本事業が有効と判断され、リサイクル事業というよりは可燃ごみの減量を目的として、再び事業化されている。その点については一定程度の成果は認められるが、事業の最終的な目標等は示されておらず、曖昧なままである。次期計画を作成する中で、将来の方向性を明確化されたい。

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	